キャラクター名: ルッツ

プレイヤー名:

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	魔動機師	性別	男	年齢	16
冒険者Lv	2	経歴	有名人の友達がいた		
経験点	0		監禁されたことがある		
			同性の家族がいない(母子家庭)		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	8	器用度	8			16	2
		敏捷度	10			18	3
体	4	筋力	6			10	1
		生命力	6			10	1
心	9	知力	10			19	3
		精神力	6			15	2

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	1		
マギテック	2		
セージ	1		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	1	3	4	2

鎧と盾

		必要ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	クロースアーマー		1	-	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能			合計値	0	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トラドール 射程30m,装填数3	2H	5		2d+ 3	10	5											
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

弾丸(12発) x2	○□□○□□
アウェイクポーション	○□□○□□
保存食(1週間分)x2	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
食費x2	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 25 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 0	2

HP
16

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 4	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 3	2d+ 4

MP
21

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	2	5			

戦闘特技

ターゲッティング	1-280p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語		○

練技/呪歌/騎芸/賦術

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中 マギスフィア(小)	魔導機術の行使に使用
右手	
腰 ガンベルト	弾丸を合計12発まで収納
足 バレットスリンガー	弾丸を合計12発まで収納
その他	

装備品	説明
左手	

その他メモ

ルッツ = ミヒャルケ（Lutz = Michalke）（ドイツ風／男性）、16歳、マギテックシューター
ヴァイスシティ用PC
ブルライト地方出身。裕福な家庭に生まれたが、父親を早くに亡くし、没落していく我が家を見続ける幼少期であった。
父親は生前に無茶な商売をしていたらしく、ルッツは怨みを抱いた人間により誘拐され、監禁されてしまったことがあった。ボロ箱に詰められ、港まで運ばれ、これまでかと思ったその時、ルッツを助けてくれたのが、祖父の代で執事長をしていたヤコブだ。ヤコブには、一人息子がおり、名前をディルクといった。ディルクは容姿端麗で歌が上手く、成人してすぐにハーヴェスで一番の歌劇団の採用試験をクリアした天才だった。ヤコブもディルクをサポートするために、執事を引退した後ハーヴェスに引っ越していたのだった。ルッツと母の状況を知った[]の申し出により、彼らはハーヴェスへと移り住んだ。それからの数年は穏やかな生活そのもので、ルッツにとって最も輝かしい日常だった。
ディルクはルッツのよき兄のような存在であり、同時に１番の友人となった。
数年後、歌劇団で活躍するディルクはその美しい顔立ちと歌声で一座の稼ぎ柱となり、近隣の有名人となっていた。しかしある日、一人になった瞬間を狙われ、ディルクは殺害されてしまう。頭部は持ち去られた。あの忌々しい"死体蒐集家"□□□ベネアス・ディケットによって。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟